

町内会 健康診断

～あなたの町内会を健康に～



札幌市豊平区市民部地域振興課

町内会健康診断とは

少子化・超高齢化社会など時代の転換点を迎え、子どもや高齢者の見守り、非常時の助け合いなど、様々な場面において、地域コミュニティの中核である町内会・自治会の役割はますます重要になっています。

他方で、居住形態や生活様式の変化などにより、多くの町内会では加入率の低下や役員の高齢化、担い手不足などが課題となっています。

こういった状況下では、「自身の町内会もたくさんの課題を抱えており、上手く運営できていないのではないか」と、ただ漠然と不安になることがあるのではないのでしょうか。

この冊子では、町内会の状況をセルフチェックすることができます。抱えている課題を明確にして、解決につながるような取組をご案内していきます。

自身の町内会を改めて見つめなおし、持続可能な健康的な町内会となるための一助となれば幸いです。

構成

問診票、診断、処方、薬情の大きく4部構成となっています。それぞれについて説明していきます。

問診票

健康状態を確認するために、問診を行います。自身の町内会の状況に合うものを選択していただきます。

診断

問診票の結果をレーダーチャートに落とし込むことで、視覚的に自身の町内会の健康的な部分とそうでない部分が見えてきます。

処方

診断によって、自身の町内会の課題が明確になったら、健康になるための薬（取組等）をご案内します。

薬情

処方された薬（取組等）の詳細をお伝えします。

内容

■ 問診票	2
■ 診断	3
■ 処方	4
暮らしを支える活動不足への処方	4
高齢者向けの活動不足への処方	4
防災体制・訓練不足への処方	5
若い世代向けの活動不足・子育て支援・子ども向けの活動不足への処方	5
町内会をオープンな組織にし、情報発信と共有不足を解消するために処方	6
負担軽減不足への処方	7
■ 薬情	8
町内会アドバイザー派遣制度	8
町内会デジタル活用促進補助金	9
町内会デジタル化出前講座	9
町内会スマホ講座	10
地域連携促進事業	11
町内会活動ガイド作成支援	11
DIG (簡易型災害図上訓練) の講師派遣	12
アンケート	13
実行委員会制度	14
サポーター制度	15
ボランティア袋	16



問診票

「はい」の場合は○を、「いいえ」の場合は×を、「どちらともいえない」場合は△を記入してください。

※○=2点、△=1点、×=0点として、合計点を記入してください。

問診① 暮らしを支える活動	
1	ゴミ集積所を管理し、定期的に清掃活動をしていますか
2	除雪・排雪を計画的に実施していますか
3	暗い街路には街路灯を設置し管理をしていますか
4	通学路で子どもの見守りはされていますか
5	高齢者の見守りはされていますか
計	

問診② 高齢者向けの活動	
1	高齢者お好みのイベントを開催していますか
2	イベントには参加者が多数いますか
3	高齢者のニーズを把握していますか
4	健康のための取組はありますか
5	お互いの体調を気にし合う関係が構築されていますか
計	

問診③ 防災体制・訓練	
1	防災訓練は実施していますか
2	防災資機材が整っていますか
3	避難場所を示した資料を町内会員全員が持っていますか
4	災害時の共助の体制(役割分担・連絡手段等)は整っていますか
5	災害時の町内会としてどう行動するかイメージ共有できていますか
計	

問診④ 若い世代向けの活動	
1	若い世代のニーズを把握していますか
2	若い世代が参加していますか
3	若い世代に参加を促していますか
4	若い世代が企画している事業はありますか
5	町内会は若い世代が今後引き継げる状態ですか
計	

問診⑤ 子育て支援・子ども向けの活動	
1	子育てサロンのような子育て世帯の集まる場所や機会がありますか
2	子育て支援事業がありますか
3	子ども向けの事業がありますか
4	子育て世帯の参加はありますか
5	子育て世帯のニーズを把握していますか
計	

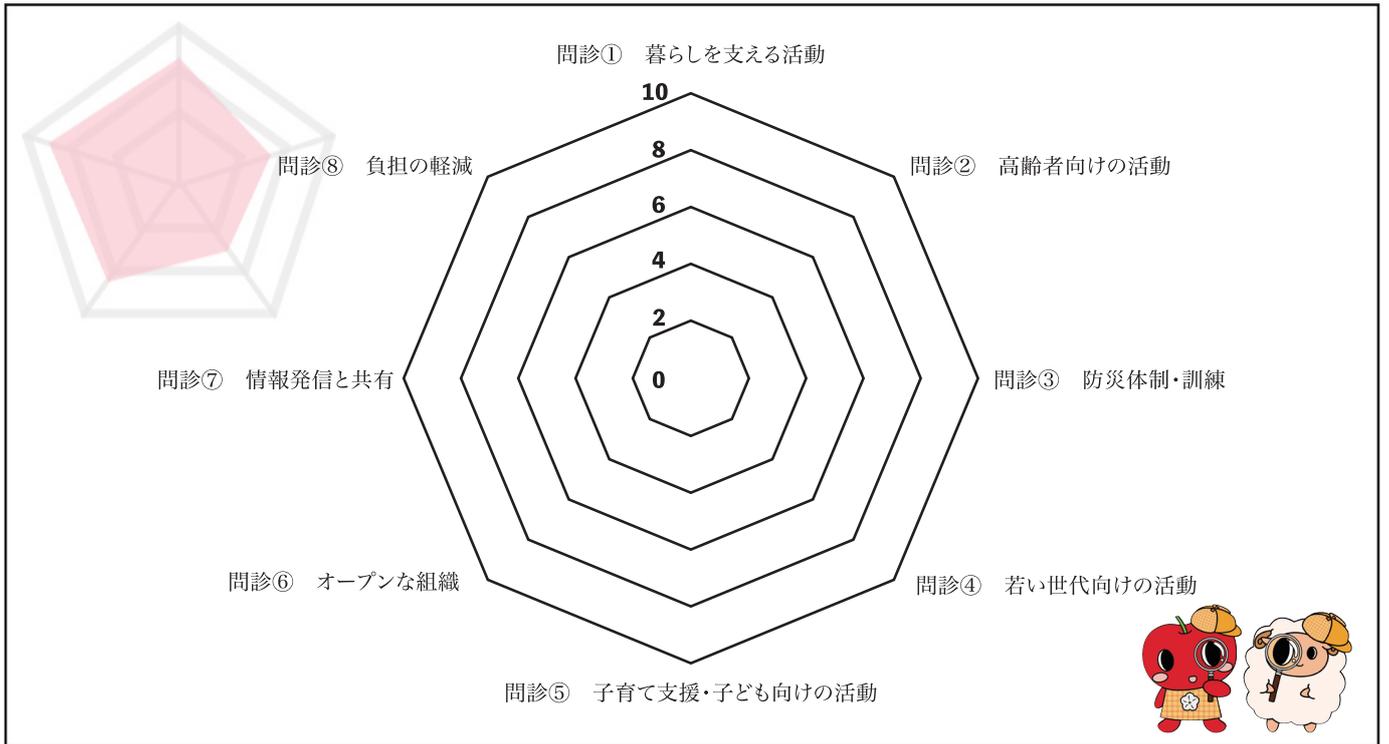
問診⑥ オープンな組織	
1	総会の実施について案内していますか
2	事業内容および事業結果に関する情報を公開していますか
3	予算・決算に関する情報を公開していますか
4	掲示板や回覧、WEBなど複数の方法で公開をしていますか
5	町内会の取り組み内容は会員外にも公開・発信をしていますか
計	

問診⑦ 情報発信と共有	
1	回覧板だけでなく、SNS等を活用した情報共有をしていますか
2	SNSに抵抗はないですか
3	ターゲットに合ったSNSツールを選んでいますか
4	ターゲットに合った情報発信の内容になっていますか
5	町内会の情報が役員だけでなく、会員全員に届いていますか
計	

問診⑧ 負担の軽減	
1	他団体や民間企業など町内会以外の力を借りていますか
2	町内会の事業で不必要な内容は見直していますか
3	町内会の役員引継ぎマニュアルで不要なものは削っていますか
4	皆がやりがいをもって活動できていますか
5	負担を分散させて特定の方の負担になっていないですか
計	

診断

問診票をもとに、各項目について、点数をグラフの目盛りマークして線で結んでください。



図形を見て、町内会の特徴（どういったことが不足しているのか）が見えてきましたか？今後、町内会を健康にするためには何をしたらよいでしょうか。診断結果をもとに処方していきましょう。

問 診	目安(要処方)	処 方
① 暮らしを支える活動	5点以下	担い手が不足しているのかもしれませんが。 ※4ページをご覧ください
② 高齢者向けの活動		高齢者が求めている活動が不足しているのかもしれませんが。 ※4ページをご覧ください
③ 防災体制・訓練		万一被災した場合の備えが不足しているのかもしれませんが。 ※5ページをご覧ください
④ 若い世代向けの活動		若い世代のニーズに合った活動が不足しているのかもしれませんが。 ※5ページをご覧ください
⑤ 子育て支援・子ども向けの活動		子育て支援や子どもが喜ぶ事業が不足しているのかもしれませんが。 ※5ページをご覧ください
⑥ オープンな組織		町内会の事業内容等の公開が不足しているのかもしれませんが。 ※6ページをご覧ください
⑦ 情報発信と共有		町内会内の情報発信、共有が不足しているのかもしれませんが。 ※6ページをご覧ください
⑧ 負担の軽減		町内会の負担軽減が不足しているのかもしれませんが。 ※7ページをご覧ください

※6点以上であれば健康状態としては問題ないかもしれませんが、ただ、参考に以降のページをご覧ください、予防として実施をご検討ください。

処方

暮らしを支える 活動不足への処方

活動に手が回らない要因の一つは、町内会の担い手不足であると考えられます。いくつかの薬(制度・取組等)を処方します。
(ボランティア清掃等で集めたごみは有料のごみ袋の代わりになる袋がございますので、併せて処方します)

制度

町内会アドバイザー派遣

薬情は8ページ

課題や悩みに沿ったアドバイザーを派遣して、課題解決につなげるための支援を実施します。

取組

町内会活動のミニマム化

町内会が実施している活動の棚卸を実施しましょう。季節の行事を除く、基礎的活動(ゴミステーション管理・町内清掃・回覧板・パートナーシップ除雪)のみを徹底して実施します。これらの活動の継続も難しい状況の場合は「町内会アドバイザー派遣」を活用しましょう。



ツール

ボランティア袋

薬情は16ページ

ボランティア清掃で集めたゴミに使用できる袋があります。

高齢者向けの 活動不足への処方

町内会全体が元気になるためには、高齢者向けの活動も必要な場合があると考えられます。町内会で望まれているのはどういった活動か見直す必要がありそうです。

制度

町内会アドバイザー派遣

薬情は8ページ

課題や悩みに沿ったアドバイザーを派遣して、課題解決につなげるための支援を実施します。

取組

アンケート(アンケート実施方法、アンケート様式等)

薬情は13ページ

町内会内のニーズを把握しましょう。ニーズに合った活動をすることで、高齢者世代が町内会活動に参加することにつながります。

その他

老人クラブ

町内会活動とは別に老人クラブがあります。
これは、高齢者同士が協力し合い、親睦を深めることはもちろん、健康増進活動や地域貢献ボランティア活動などを自主的に行っている集まりです。

町内会だけで高齢者へのきめ細やかな対応が難しい場合や、高齢者の方々の「居場所」や「生きがい」づくりをさらに充実させたい場合などにおすすめです。



(老人クラブについては、豊平区保健福祉課活動推進担当へご連絡ください TEL:011-822-2451)

処方

防災体制・ 訓練不足への処方

防災体制を整えることは、町内会参加の意義を高め、安心して暮らしやすい地域となる重要な要素です。防災のための薬（事業）を処方します。

事業

地域安全係による講話

総務企画課地域安全担当係の職員が防災に係る講話をいたします。

(TEL:011-822-2405)



DIG(簡易型災害図上訓練)の講師派遣

薬情は12ページ

いざという時に助け合える地域づくりのために楽しく地図上で行う防災訓練です。

若い世代向けの 活動不足、子育て支援・ 子ども向けの活動不足への処方

持続可能な町内会のためには若い世代の活動参加が重要になりますので、活動参加を促す薬（制度・取組）を処方します。

制度

町内会アドバイザー派遣

薬情は8ページ

課題や悩みに沿ったアドバイザーを派遣して、課題解決につなげるための支援を実施します。

取組

アンケート(アンケート実施方法、アンケート様式等)

薬情は13ページ

町内会内のニーズを把握しましょう。ニーズに合った活動をすることで、若い世代・子育て世代が町内会活動に参加することにつながります。

実行委員会制度(制度導入の流れ)

薬情は14ページ

事業を実施するには負担がかかりますので、事業を実行するための委員会を設置し、その時実施できる会員が委員となり、事業を進めましょう。若い世代も自分の興味関心がある事業や、得意分野であれば空いている時間で参加するきっかけとなります。



サポーター制度(制度導入の流れ)

薬情は15ページ

できるときに、できることを手伝ってもらえるサポーターを募集しましょう。

処方

町内会をオープンな組織にし、
情報発信と共有不足を
解消するための処方

町内会でどのような活動をしているのかが伝わらなければ、町内会活動に参加することに抵抗感が生まれます。町内会活動の内容を明らかにし、情報を発信・共有するために必要な薬（制度・ツール）を処方します。

制度

町内会活動ガイド作成支援

薬情は11ページ

町内会の活動内容についてガイド作成する支援をいたします。

町内会デジタル活用促進補助金

薬情は9ページ

デジタル活用に係る環境整備に資する事業実施のために必要となる経費を補助いたします。

町内会デジタル化出前講座

薬情は9ページ

デジタル化を検討している町内会に対して、講師を派遣し、デジタル技術について講座を行います。

町内会スマホ講座

薬情は10ページ

スマホアドバイザーによる初心者向けのスマホ教室を行います。



ツール

ツール名	概要	費用	活用方法
LINEグループ	・身近な友だち向け・少人数の利用に適している。	無料	・役員間の連絡等に有効。 (町内会全体では参加者が多くなり運営が難しい。)
LINE公式アカウント	・登録者に一斉配信ができる。	月200通の配信まで無料 (それ以外は有料5,000円/月)	・登録者に管理者が情報を一斉に配信する。 ・登録者から管理者へ返信ができるが、他の登録者はそのやり取りを見ることができない。 ・閲覧しているかはチェックできない。 <small>※「月200通まで無料」に注意 たとえば登録者100人の町内会であれば、月2回の発信まで発信無料という考え方になります(100人×2回=200通)。 写真も1カウントのため注意!</small>
LINEオープンチャット	・登録者に一斉配信、大人数への情報発信に適している。 ・ニックネームで参加できるのでプライバシーが守られる。	無料 (5,000名まで参加可能)	・前述のLINEグループが匿名になったもの ・会話はすべての登録者が見ることができる ・既読数がわかる ・リアクション(各発言へのスタンプ)があると、誰が見て・反応したのかがわかる。 ・ニックネームでの登録、無料で運用できることが、LINE公式アカウントと異なる。
LINE WORKS	・社内や取引先とのビジネスコミュニケーションツールとして活用される。 ・少人数での利用に適している。	30人まで無料 (それ以上は有料)	・組織内でのコミュニケーション、情報共有に適している。 ・LINE利用者でチャット形式でコミュニケーションが取れる。 ・既読者を把握できる。 ・最大200人まで参加可能なビデオ通話・音声通話。
Band	・LINEのようにグループでのお知らせが可能。 ・日程共有・出欠管理などの機能。 ・グループのコミュニケーションを効率化させる。	無料	・活動ごとにグループを複数作成可能。 ・特定の人物にのみメッセージを送ることが可能。 ・掲示板タイプなので過去の投稿も確認することが可能。 ・PTAなどで活用している事例がある。

処方

負担軽減不足 への処方

町内会だけでは負担が大きすぎる場合には、他団体との連携や、運営体制の見直しを検討してみてもいいかもしれません。
以下薬（制度・取組）を処方します。

制度

地域連携促進事業

薬情は11ページ

まちづくりに関するスキル・ノウハウをもつNPOを紹介・派遣します。

取組

輪番制

役員を輪番とすることで、活動を見直す機会にもなり、役員の仕事の簡素化することにつながります。順番になっても役員ができない世帯の取り扱い等についてルール化が必要となります。

実行委員会制度（制度導入の流れ）

薬情は14ページ

事業を実行するための委員会を設置し、その時実施できる会員が委員となり、事業を進めましょう。若い世代も自分の興味関心がある事業や、得意分野であれば空いている時間で参加するきっかけとなります。

サポーター制度（制度導入の流れ）

薬情は15ページ

できるときに、できることを手伝ってもらえるサポーターを募集しましょう。



町内会アドバイザー派遣制度

対象：連合町内会、単位町内会

◎問合せ：札幌市市民文化局市民自治推進室市民自治推進課 (Tel: 011-211-2253)

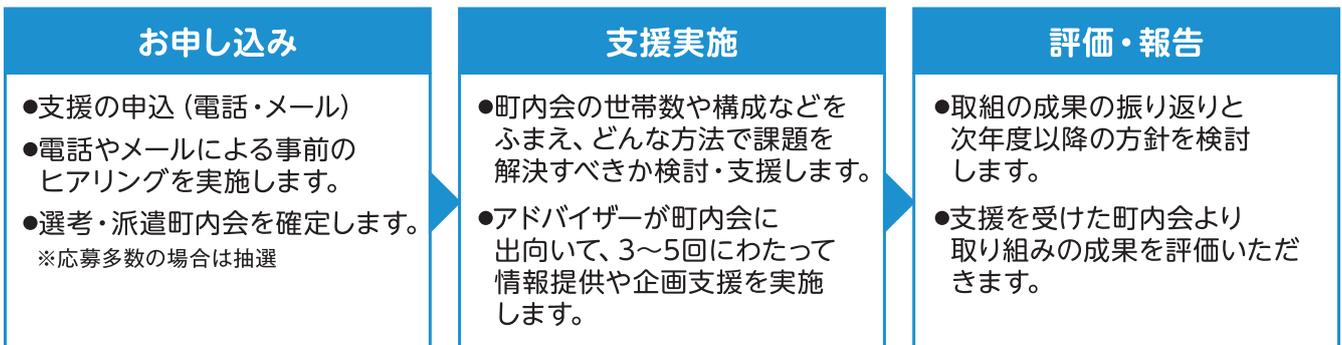
札幌市内のさまざまな悩みを抱える単位町内会及び連合町内会を対象に
課題や悩みに沿ったアドバイザーを派遣して、
課題解決につなげるための支援を実施（1団体あたり最大3～5回程度）

令和6年度実績
13団体

～ 具体的な支援例 ～

主な課題	支援内容	成果
<ul style="list-style-type: none"> ● 役員の担い手不足 ● 地域住民の参加が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業と組織の見直し ● アンケート調査 ● サポーター制度の確率に向けた提案 ● 役員マニュアルの作成 ● 交流イベントの企画・運営 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業や業務のスリム化 ● マニュアルによる役割の可視化 ● アンケートによる住民ニーズの把握、サポーターの発掘 ● 住民参加のきっかけづくり
<ul style="list-style-type: none"> ● 役員間の情報共有 ● 地域住民への情報発信手法 	<ul style="list-style-type: none"> ● 役員向けSNS講座 ● LINE公式アカウントやFacebookの立ち上げ ● 町内会ガイドの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 役員間のグループLINEの立ち上げによる連絡調整の簡素化 ● 若年層、未加入者に向けた情報発信ツールの整備

▼ 支援までの流れ



▼ 得られる成果の事例

例 町内会・自治会のPR冊子活用



町内会・自治会の活動紹介だけでなく災害時や緊急時の情報などを掲載し、読んでもらいやすい冊子を作成・活用！

例 サポーター制度の確立



サポーターと役員の顔合わせを行いながら、サポーターが町内会を気軽に手伝える仕組みをつくり、活動への参加のきっかけにする！

例 電子回覧板を活用した若い世代への情報発信



電子回覧板の導入を検討し、若い世代に情報を届けやすくしたり、興味を持ってもらえそうな活動をお知らせ！

例 町内会運営のスリム化



町内会の規模や地域のニーズに合わせて組織体制や取り組みを見直すことで、役員の負担を軽減！

町内会デジタル活用促進補助金

対象：連合町内会、単位町内会

◎問合せ：札幌市市民文化局市民自治推進室市民自治推進課（Tel：011-211-2253）

町内会の課題解決や活動の活性化を図ることを目的に、
デジタル活用の導入を検討している町内会に対して、
デジタル活用に係る環境整備に資する事業実施のために必要となる経費を補助。

令和6年度実績
79団体

補助概要

補助率：10分の10（報償費、使用料、役務費、委託費）
3分の2（物品・備品購入費、工事費）
上限額：10万円



◆活動事例

- ① 町内会所有情報データ化、集約化（パソコン、セキュリティソフトの購入）
- ② 町内会ホームページやLINE公式アカウントの作成（制作委託費）
- ③ オンライン会議の実施（研修会講師謝礼、会場費、タブレット購入費）

町内会デジタル化出前講座

対象：連合町内会、単位町内会

◎問合せ：札幌市市民文化局市民自治推進室市民自治推進課（Tel：011-211-2253）

デジタル化を検討している町内会に対して、講師を派遣し、
町内会活動に役立つデジタル技術についての講座を行う。
(1団体につき1回、120分)

令和6年度実績
21団体

◆講座内容 (R7)

- LINEの基本的な使い方（基礎）：基本的な操作、トークやグループの使い方など
- LINE便利機能の使い方（初級）：役員間の情報共有など
- LINE機能を使った情報発信（中級）：回覧板の電子化など
- 町内会活動を支援する各種ツールの活用（上級）：アプリやサービスの活用事例など

▼支援までの流れ

お申し込み

- 郵送・メール・FAXにてお申込みいただけます。
- お申し込みの際に希望する講座を選択いただけます。
(基礎・初級・中級・上級)
※応募多数の場合は抽選

調整

- お申し込み内容に基づき、事務局と直接打ち合わせして確定します。
※講師の状況に応じて期待に沿えない場合があります。
- 講座に使用する会場については申込者にご用意いただけます。

評価・報告

- 講師が会場に直接伺って講座を実施いたします。

気になることは
どんどん聞いて
みましょう!



町内会スマホ講座

対象：連合町内会、単位町内会

◎問合せ：札幌市市民文化局市民自治推進室市民自治推進課 (Tel: 011-211-2253)

町内会を対象に、スマートフォンやLINEの使い方といった
初心者向けのスマホ教室を行う。
ソフトバンク(株)との連携協定に基づく事業。
(1回の定員15名程度、120分)

令和6年度実績
47回

◆講座内容 (R7)

- はじめてのスマホ体験
- はじめてのLINE体験
- 役員間で使ってみよう!
グループLINEで使えるワザ
- LINEの基本と防災
- スマホの基本と詐欺対策
- スマホで健康管理、フレイル予防
- スマホ決済の使い方
- 市の公式アプリを使ってみよう
- 今話題のAIを使ってみよう
など



▼支援までの流れ

お申し込み

- 郵送・メール・FAXにてお申込みいただきます。
- ※日程調整に2ヶ月かかる場合もあるため早めにお申し込みください。
- ※申し込み順の調整となるため、申し込み状況・内容・日程によってはご期待に添えない場合があります。

調整

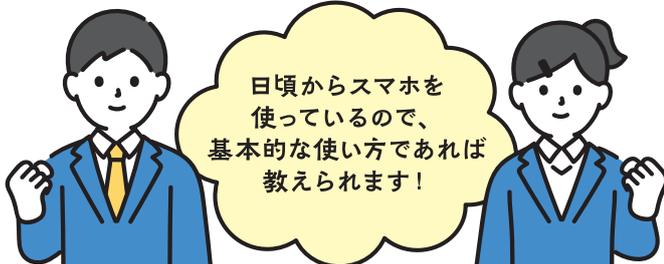
- ソフトバンク(株)の担当者と電話で以下の確認と調整を行います。
 - ① 実施内容
 - ② 参加人数
 - ③ 開催日程
 - ④ 開催場所
- 町内会が会場を用意、または市内のソフトバンクショップで実施可能です(人数に制限有)

スマホ講座開催

- 指定した日程・場所にてスマホ教室を開催します。
- <準備するもの>
- ・スマホ
(ない場合は貸出機も用意可)
- ・LINEコース受講者はLINEアプリのインストール

<番外編>地域の中高生と連携したスマホ講座の開催

連合町内会×地元高校の取組事例
高校生が先生役となり、スマートフォンの使い方を教えることで、町内会の活性化に向けた取組を実施した事例もあります。
多世代が参加する町内会運営の活性化や、若者がコミュニティで活躍する機会の創出にもつながります。



地域連携促進事業

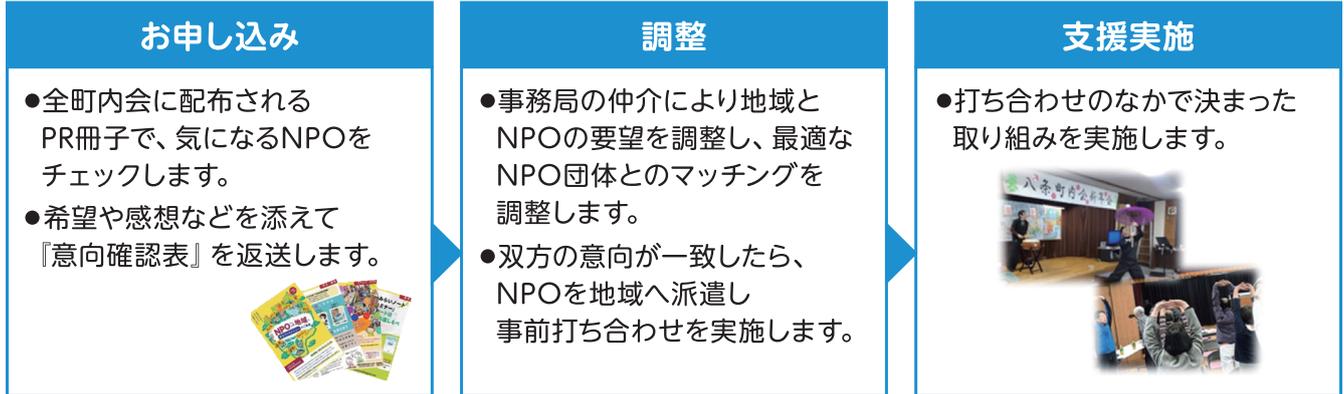
対象：連合町内会、単位町内会

◎問合せ：札幌市市民文化局市民自治推進室市民自治推進課（Tel：011-211-2964）

NPOと町内会の連携・協力関係の構築を推進するため、

まちづくりに関するスキル・ノウハウを持つNPOを町内会等に紹介し、派遣する事業

▼支援までの流れ



例えばこんな「まちづくりのスキル・ノウハウ」が提供されます！

福祉・ウェルネス

日常を健康的に過ごすための体操教室

防災・支え合い

安心して暮らすための防災セミナーの実施

イベント・にぎわい

地域を元気にする子ども向けイベントや多世代交流イベントの実施

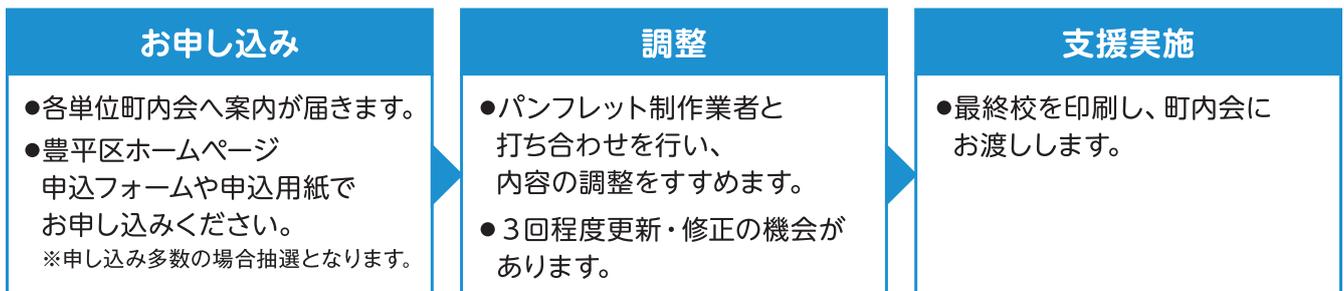
など

町内会活動ガイド作成支援

◎問合せ：豊平区地域振興課（Tel：011-822-2427）

「町内会の活動を地域の人に知ってもらい、参加してほしい！」
 「町内会加入を勧める際に、地域を紹介できるものがほしい！」
 ▶ という町内会のためにガイドの作成を支援いたします。

▼支援までの流れ



POINT!



冊子を作るときは、届けたい相手を意識して、その人が知りたいと思う内容を記載しましょう！

例) 子育て世代：子ども向け行事・交流イベントの情報等、高齢者：見守り制度や健康促進行事の取組紹介等



DIG (簡易型災害図上訓練) の講師派遣

DIGってなあに?

ディグ

阪神・淡路大震災では、救助された約3.5万人のうち約8割が近隣住民により救出されました。

いざという時に住民が助けあえる地域づくりのために…

DIGは、
Disaster (災害) の **D**
ディザスター
Imagination (想像力) の **I**
イマジネーション
Game (ゲーム) の **G**
ゲーム

の頭文字をとって名づけられたもので、これをDIG「ディグ」ってよんでいるんだよ!

DIG (簡易型災害図上訓練) は、あなたの町内で地震や風水害などの災害が起きた場合を想定し、参加者がみんなで対応を考えて、大きな地図に書き込みを加えながら、「ワイワイ、ガヤガヤ」と楽しく**地図上で行う防災訓練**です。



DIGの特徴は



お金はほとんどかかりません。



簡単に誰でも参加できます。

災害の種類や立場に応じて様々な状況の設定が可能です



DIGの効果は



地域の防災上の長所や短所が理解できます。

防災意識が高まり地域の防災力が高まります。



地域の助け合いに
 対する人と人の
 つながりを生みます。



防災救護活動の
 イメージトレーニングができます。



DIGのメンバーは

●プレーヤー



実際に参加する町内会の皆さんです。

●進行役

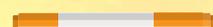
●スタッフ

進行や補助を行う人で、区役所の職員などが担当します。



DIGで使うものは

区役所で準備します!!



油性ペン



地図



丸型シール



付箋

透明シート



はさみ・カッター



テープ

豊平区総務企画課地域安全担当係までご連絡ください。

(TEL: 011-822-2405)

アンケート

アンケートをすることで、ニーズの把握、担い手の発掘、活動の見直し、町内会の課題の共有が可能になります。アンケートは単に「聞きたいことを聞く」だけでは不十分です。回答者に町内会の現状や課題を理解してもらい、「自分ごと」として考えてもらうシナリオ設計が重要です。

◆ 理想的なアンケートの流れは4ステップ ◆

① 現状を伝える

まず町内会が抱えている課題（役員の高齢化、担い手不足など）を説明し、共感を得る

② 問いの意図を説明する

なぜこのアンケートを行うのか、どう活用するのかを明確に伝え、納得してもらう

③ 具体的な質問をする

文脈を理解した上で、参加状況やニーズ、希望する活動について答えてもらう

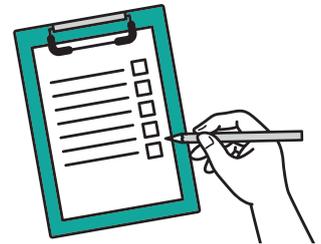
④ 協力を呼びかける

「できる時にできることを」のスタイルでサポーター募集を行い、協力への心理的ハードルを下げる

このシナリオがあることで、より真剣な回答が得られるだけでなく、「協力してもいいかな」という気持ち生まれ、サポーター発掘につながります。

① アンケートの目的を決めよう！

- 目的の例**
- ・町内会の住民がどんな世帯構成か、行事ごとのニーズが知りたい。
 - ・町内会が担い手不足でも待っていることをみんなに知って欲しい。
 - ・もっと町内会の情報を伝えるにはどの方法が良いか知りたい。



② アンケート票（調査票）を作成しよう！

基本的なアンケートの設問例

全部で4~5ページが目安

- ・町内会の会員の属性など（年代、性別、世帯の構成など）
- ・参加したことのある活動
- ・今後も続けてほしい活動
- ・希望する情報発信方法（回覧板、掲示板、メール、SNSなど）
- ・町内会活動への参加やサポートについて
- ・自由意見

●アンケートのサンプルは札幌市のホームページからダウンロードすることができます。

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/shinko/chounaikai/kadaikaiketsu/ninaitebusoku.html>



アンケートを生かそう

アンケートの結果を町内会の活動や組織体制にいかすことが最も大切！ 役員の皆さんの負担軽減や新たな活動を検討しましょう。

① 新たな人材を確保しましょう
サポーターとしてつながりましょう

② その活動、ニーズありますか
ニーズの少ない活動は棚卸しましょう

③ 新しい活動が必要ですか
住民のニーズに対応した新たな活動を検討します

④ 組織のスリム化できませんか
活動の見直しと合わせ、部の統廃合や役員削減を検討します

実行委員会 制度

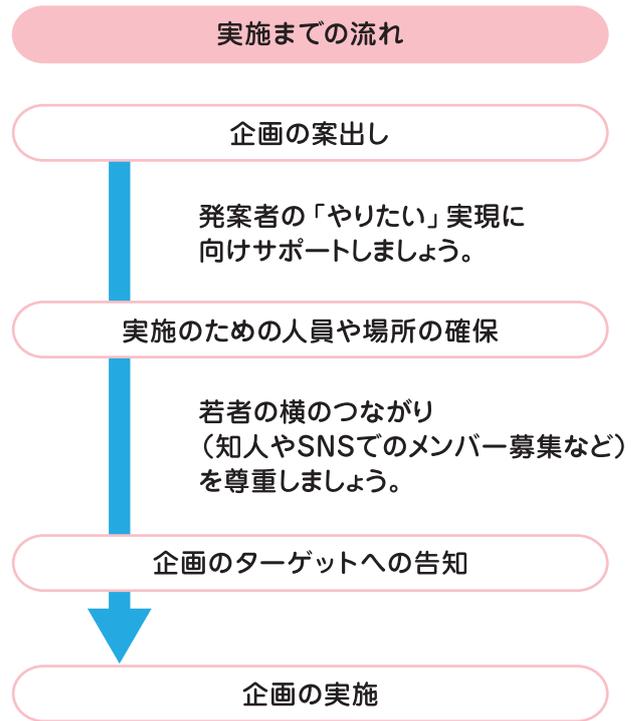
子ども向け行事などは、若い世代がやりたいことが実現できるように実行委員会で実施することも効果的です。新しい行事や活動は最初は実行委員会でお試しでスタートして、行事化してもよいでしょう。輪番制の町内会・自治会は新たな行事や活動ができないといった課題を持っている町内会にも効果的です。現役世代のアイデアは、積極的に取り入れて、企画や運営をお任せしてみましょう。

「町内会は自分たちがやりたいことを実現させてくれる」と感じてもらいましょう。

イベント企画と実施を任せてみよう



現役世代のアイデアは、積極的に取り入れて、お任せしてみましょう。
「町内会は自分たちがやりたいことを実現させてくれる」と感じてもらいましょう。



<事例>

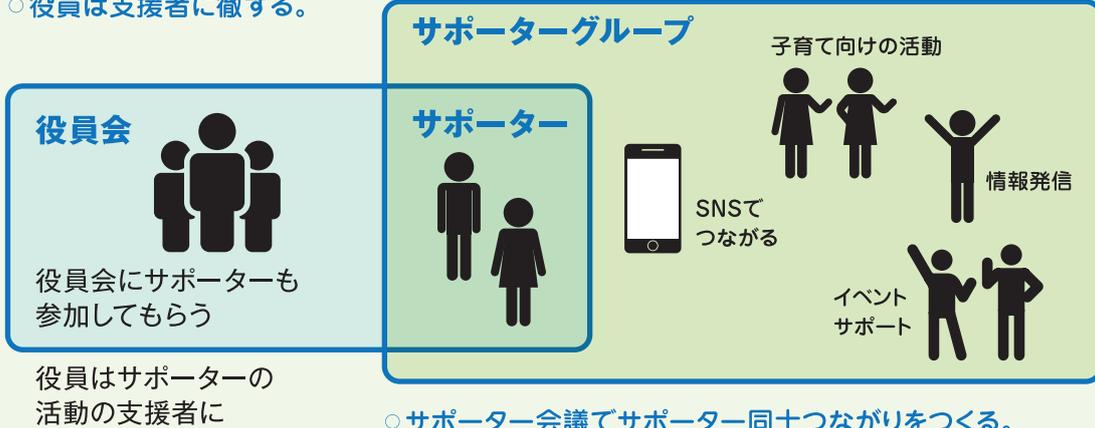
手稲区の町内会では担い手不足が喫緊の課題となり、アンケート調査を実施した結果、サポーターが発掘されました。子育て世代のサポーターによる子どもイベントの実行委員会が発足し、ハロウィンイベントやクリスマス会が実施されました。いずれも子育て世代の目線で企画され、当日は多くの親子連れが参加しました。参加者の保護者からさらにサポーターが発掘されるなど、町内会のサポーターの輪が広がるきっかけになりました。



サポーター制度

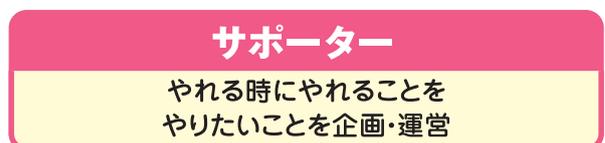
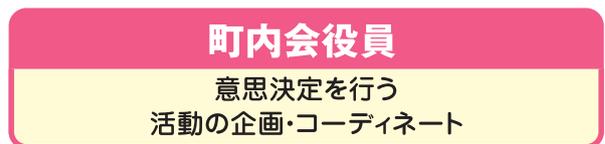
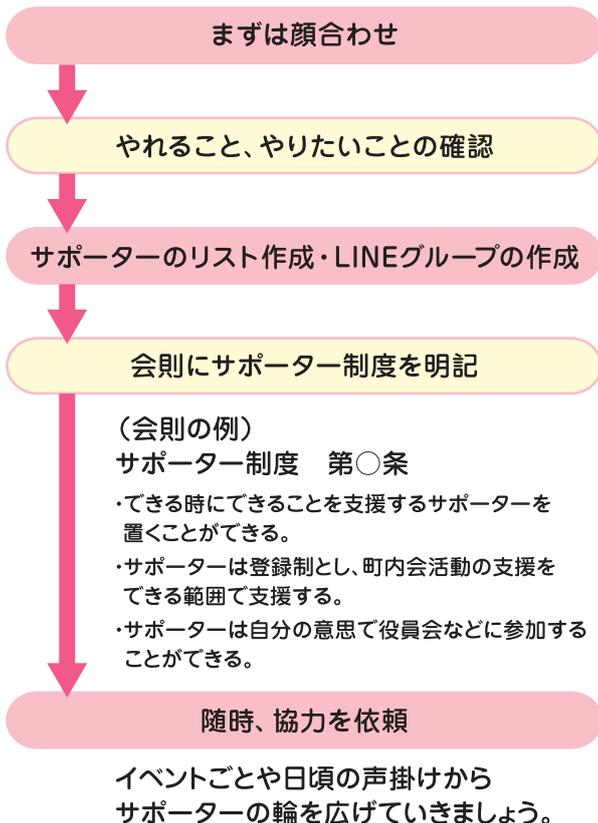
アンケートや小さなイベント、座談会などで役員にはなれずとも、何らかの形でお手伝いできると回答してくれた方々をサポーターとして、町内会活動に関わってもらいましょう。サポーターは「できる時にできることを」が基本です！役員が全てを担うのではなく、一部お任せすることも大切です。すぐに役員候補になってもらおうと焦らないで、少しずつ担い手を育成するつもりで始めましょう。

- サポーター会議などを開催し、役員とサポーターのつながりをつくる。
- サポーターに新たなイベント・活動を企画から任せる。
- 役員は支援者に徹する。



- サポーター会議でサポーター同士つながりをつくる。
- LINEグループで緩やかにつながる・情報を共有する。
- サポーターの負担にならない活動を実施する。
- 子育て世代向けの活動などを企画から行う。
- 新たなイベントや活動を通じてメンバーを増やす。

サポーター制度をつくる流れ

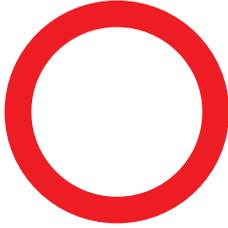


ボランティア袋

公共の場所のボランティア清掃で集めたごみを、**燃やせるごみ** 又は **燃やせないごみ** として **ごみステーションに出す** 場合に使用する袋です。

◆使用方法

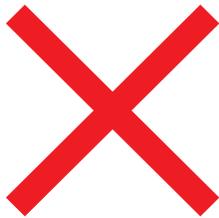
使用できる場合



- 公園や道路などのボランティア清掃で集めたごみ(400ℓ未満)
- 公園や道路の街路樹から私有地に飛散した落ち葉
- 道路(舗装・車道)に撒いた滑り止めの砂
- ごみステーションの**散乱ごみ**

カラス等の被害により袋から飛散したごみ など

使用できない場合



- ごみステーションの**違反ごみ**
- 私有地や団地などから出るごみ
- 地域のイベントや祭りで出るごみ
- 分別した資源物をそれぞれの収集日に出す場合
- ボランティア清掃で集めたごみを清掃事務所が 直接回収に来る場合

×シールの貼ってあるごみ

異なる収集日に出されたごみ など

※各区地域振興課、各まちづくりセンター等で交付しております。



札幌市豊平区市民部地域振興課

札幌市豊平区平岸6条10丁目1-1

豊平区役所庁舎隣、区民センター1階

 **011-822-2427**

SAPP
RO